

教 科	科 目	対 象 学 年 学 科	単 位 数	教 科 書	使用教材
福 祉	福祉情報	1 年福祉科	2 単位		福祉情報活用（実教出版） ビジネス文書実務検定模擬 試験問題集3級（実教出版）

到達目標	① 高度情報通信社会の中で、情報を取り扱う時のルールやマナーを正しく理解する。 ② 情報活用に関する知識と技術を身につけ、福祉の各分野で情報や情報手段を活用することができる。
------	--

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	情報機器の役割や情報システムについて理解していると同時に、関連する技術を身に付けている。	情報化の進展が社会や家庭に及ぼす影響について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	情報機器や情報システムなどについて自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。 情報機器の役割や情報システムについて理解していると同時に、関連する技術を身に付けている。

学習の評価	① 定期考査で主に【知識・技術】【思考・判断・表現】を評価する。 ② 授業や演習に取り組む態度やワークシートやレポート作成状況により【知識・技術】と【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を評価する。 ①②の評価および出席状況を加味し、総合的に評価する。
-------	--

単 元	学 習 内 容	到達目標
第2章 情報モラルとセキュリティ	1 ネットワーク社会の危険性 2 情報モラルとマナー 3 セキュリティ管理	・情報に関する法規やマナー、情報社会において個人の果たす役割や責任などについて理解すると同時に、関連する技術を身に付ける。 ・情報を扱う上で必要な情報モラルについて課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ・情報を扱う上で必要な情報モラルについて自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。
第1章 情報化の進展と生活産業	1 福祉分野における情報活用の意義 2 福祉サービスにおける情報機器活用 3 福祉分野における個人情報の管理	・福祉サービスの各分野における情報機器や情報通信ネットワークの効果的な活用方法について理解すると同時に、関連する技術を身に付ける。 ・福祉サービスの各分野における情報機器や情報通信ネットワークについて課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ・福祉サービスの各分野における情報機器や情報通信ネットワークの効果的な活用方法について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。
第4章 情報機器の仕組み	1 コンピュータのしくみ 2 ハードウェア 3 ソフトウェア	・情報機器の基本的な機能と必要な周辺機器の仕組み、ソフトウェアの役割と特徴について理解すると同時に、関連する技術を身に付ける。
第5章 情報通信ネットワーク	1 情報通信ネットワークのしくみ 2 通信ネットワークの利用	・情報機器の基本的な機能と必要な周辺機器の仕組み、基本的なアルゴリズムやプログラムの活用について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。
第6章 情報の処理・分析・発信	1 日本語ワードプロセッサの利用 2 表計算ソフトの利用 3 画像処理ソフトの利用 4 プレゼンテーションソフトの利用 5 Web ページ作成ソフトの利用 ビジネス文書実務検定3級に向けての実技練習	・情報機器の基本的な機能と必要な周辺機器の仕組み、ソフトウェアの役割と特徴について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。 ・適切なアプリケーションソフトウェアを活用した情報の収集・整理・分析・発信について理解すると同時に、関連する技術を身に付ける。 ・情報機器や情報ネットワークを活用した情報の収集・整理・分析・発信について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて解決する。 ・情報機器や情報通信ネットワークを活用した情報の収集・整理・分析・発信について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。
第7章 ICTを活用した自立生活支援	1 ICTの利活用の意義 2 自立生活支援へのICTの利活用	・高齢者や障害者の社会参加や多様で継続的な交流、自立生活の支援など福祉サービスの質の向上につながる情報機器や情報通信ネットワークの効果的な活用方法について理解する。

		るとともに、関連する技術を身に付ける。 ・情報機器や情報通信ネットワークを活用した高齢者や障害者の社会参加や多様で継続的な交流、自立生活の支援方法について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。 ・福祉サービスの質の向上につながる情報機器や情報通信ネットワークの効果的な活用方法について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む。
--	--	--